



未永くお使い頂くために

手入れ・点検・保守



■点検、手入れのときは電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグを抜き、光線治療器が完全に冷えてから行ってください。

・感電、やけどの原因になることがあります。

■照射器後部の発光器カバー内にカーボン電極が入り込んだ場合は取り除いてください。

・そのまま使用すると故障や感電の原因になることがあります。
・屋外で照射器を下に向け、振り出してください。

■光線の反射効率を維持するため、照射器内部の掃除を行ってください。

・掃除は乾いた布、ブラシ、掃除機などでこまめに行ってください。

※掃除による内部塗装のはがれはおこりません。

■治療器の掃除は、水または薄めた中性洗剤をタオル等に付け、よく絞り使用してください。

・ベンジン、シンナー等は塗装面を傷める原因になることがありますので使用しないでください。

■照射器上部の排気口カバー、排気口ネットは取りはずし、掃除してください。

・以下の手順で行ってください。

●排気口カバーは反時計回りに回しはらずします。下図(1)、(2)

●排気口ネットは持ち上げはらずします。下図(3)

(1) 排気口カバーを
反時計回りに回す



(2) 排気口カバーを
はずす



(3) 排気口ネットを
取りはずす



排気口カバー



排気口ネット

・水洗いした場合は、必ず乾いてから取り付けてください。



■カーボン電極をホルダーに取り付けた際、カーボンの先端が上下にずれていないことを確認してください。

・ずれがある場合は、ホルダー取り付けネジをゆるめ、先端部が揃うように調整してください。

■カーボン固定ネジ、カーボンホルダーは消耗部品です。

・ホルダーや固定ネジ先端部が熱やスパークで消耗し短くなります。カーボン電極がしっかり固定できなくなったら交換してください。(有料)

■日常のご使用に異常がない場合でも、お買い上げから10年程度たちましたら、安全のため、コードや消耗部品を交換する総合的な点検整備をお申し付けください。(有料)

保管の仕方



■治療器およびカーボン電極は、高温多湿、直射日光のあたる場所へは長期間置かないでください。

■カーボン電極はお子様の手の届かないところ、湿気の少ないところに保管してください。



■ご使用にならない場合は、必ず電源プラグを抜き、カーボン電極は照射器内のホルダーから取り外しておいてください。